

# 令和3年度 特別養護老人ホーム事業計画

## I 基本方針

介護保険関係法令の趣旨に従い、各種事業間の連携を密にすることで、個人の尊厳と自立を継続的に支援していく。また、地域包括ケアシステム構築に向けた在宅関係サービスの柔軟な対応と、終の棲家と言われてきた特別養護老人ホーム事業の更なるサービス向上を図ることで、住み慣れた地域で暮らし続けるための支援体制の構築を目指すとともに、サービスの質の向上および地域福祉を推進する。

## II 事業内容

- 1 特別養護老人ホーム高風園（以下、「高風園」）  
特別養護老人ホーム事業、短期入所生活介護事業、地域密着型通所介護事業、居宅介護支援事業、地域包括支援事業の5事業
- 2 特別養護老人ホーム高風園「そめやの里」（以下、「そめやの里」）  
特別養護老人ホーム事業、地域密着型ユニット型特別養護老人ホーム事業、短期入所生活介護事業、地域密着型通所介護事業、居宅介護支援事業の5事業
- 3 特別養護老人ホーム明風園（以下、「明風園」）  
特別養護老人ホーム事業、短期入所生活介護事業、通所介護事業、居宅介護支援事業の4事業
- 4 特別養護老人ホーム菱風園（以下、「菱風園」）  
特別養護老人ホーム事業、短期入所生活介護事業、地域密着型通所介護事業、訪問介護事業、居宅介護支援事業、相談支援事業（障害者福祉サービス）、地域包括支援センター事業の7事業

## III 重点的取組と数値目標

- 1 介護予防通所（および訪問）介護相当サービスに関する継続的取組  
本事業については地域包括ケアシステムを念頭に、地域包括支援センターや居宅介護支援事業者、ならびに地域住民等と連携してサービスの充実を図る。
  - (1) 利用者が住み慣れた地域で「可能な限り自立した日常生活を営む」ことが出来る様、日常生活上の支援及び機能訓練等を行う事により、生活機能の維持向上を目指す。
  - (2) 利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ったサービス提供に努める。
  - (3) 地域住民による自発的な活動によるサービス、団体・事業者等と連携を図り、総合的なサービスの提供を推進し、地域における役割を發揮する。
- 2 令和3年度特に強化する取組  
介護報酬の一部改正と新型コロナウイルス感染症対策を中心としつつ、法人の将来展望も意識した取り組みを実践する。
  - (1) 介護保険報酬改定年にあたる本年度は、報酬改定に適切に対応することに加え、複雑化が進む加算算定構造を的確に把握し、実践しているものについては業務の評価として積極的に算定に結びつける。
  - (2) 新型コロナウイルス感染症に関連する動向や情報に注視するとともに施設内で確実に共有し、必要に応じて法人内外との相互応援にも協力するなど柔軟に対応する。併せて各種訓練・研修を実施することで感染症対策を強化し、拠点区分の持つ機能を最大限活かし利用される皆様の安全確保と安定的運営に繋ぐ。
  - (3) 法人中長期計画については、コロナ禍の情勢を鑑みつつも施設運営・法人経営の将来展望を具現化する方策として具体的に練り上げ実践につなぐ。とりわけ、人材確保策と育成については国際貢献の取り組みである外国人技能実習制度の運用を含め、求められる専門性の維持・向上を図る。
  - (4) 昨今危惧される感染症対策・災害対策については、普及啓発を積極的に行うことで保有す

るスキルを地域社会へ還元する。

- (5) 法人内外に法人特養の理解を深めるべく広報戦略を確立する。特に、法人広報委員会と連携してHPの見直しとその先の有効活用を検討する。
- (6) 介護報酬改定においても予定されているICTを含むテクノロジー活用を検討推進する。
- (7) 社会資源の活用を促進するために、3カ月に一度程度、入園待機者への連絡と状況把握を行い社会のニーズへ適確な対応に繋ぐ。

### 3 各拠点区分の現状に照らし合わせた本年度の課題および成果指標

#### (1) 高風園

##### ア 重点的取組

	重点課題	取組方針	成果指標
サービスの質	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者個別ケアの推進</li> <li>・質の高いサービスの提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門資格の取得を促進</li> <li>・接遇の向上を図る</li> <li>・個別ニーズと向き合う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症介護基礎研修の受講を促進する。</li> <li>・認知症介護実践者研修に職員2名、認知症介護実践リーダー研修に1名をそれぞれ受講させる。</li> <li>・権利擁護園内研修を行う。</li> <li>・看取りケアを推進するため、施設内での看取り率70%を目指す。</li> <li>・利用者の生活を見直し、機能訓練を充実する。</li> </ul>
地域福祉の増進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民との交流促進及び地域貢献</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア、実習生を積極的に受け入れる。</li> <li>・災害時等の地域との連携強化</li> <li>・地域に赴き、介護の専門性を還元する。</li> <li>・地域の相談拠点として、地域の支え合い活動や、多職種協働による支援を推進する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間12回以上のボランティアの受け入れを目指す。</li> <li>・医療実習生を積極的に受け入れる。</li> <li>・年1回以上、地域住民参加型の防災訓練・災害訓練を行う。</li> <li>・デイサービスセンターにおいては、定期的に交流会を開催する。</li> <li>・地域のサロンに参加する。</li> <li>・あんしんセンターと協働して地域に介護力を還元する。</li> <li>・地域の居場所づくりやボランティアの養成を推進する。</li> <li>・地域支え合いサポーター・オレンジサポーター・介護予防サポーター等との連携を強化する。</li> </ul>
人材確保と育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員採用に向けた採用活動・広報の強化</li> <li>・職員の勤労意欲と介護技術の向上</li> <li>・国際貢献</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職説明会や専門学校等での採用活動の場を増やす</li> <li>・階層別研修への参加促進</li> <li>・外国人技能実習生の受け入れ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々なツールを用い地域における高齢者福祉の拠点としての役割を示し、人材の確保につなげていく。</li> <li>・全職員が年間最低1回の研修受講を目指す。</li> <li>・引き続き技能実習生を2名受け入れ、伝達力・指導力の向上を目指す</li> </ul>
施設経営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適正な収益確保と財政基盤の安定</li> <li>・中長期計画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・営業・宣伝活動の充実を図る。</li> <li>・施設の劣化調査結果に基づく計画的な施設整備計画を基本とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当園の専門的なケアを周知するため、宣伝活動を検討する。</li> <li>・給湯設備を更新する。</li> <li>・耐用年数を大幅に超えた空調機器の入れ替えを完了させる。</li> </ul>

イ 数値目標

実施事業	定員	目標値	備考
特養（従来）	80床	98.0%	年間平均稼働率
短期入所	8床	70.0%	〃
地域密着型通所介護	18人	14人	1日平均利用者数（※注1）
居宅介護	72件	68件	月平均（※注2）
地域包括支援	—	360件	実態把握のための訪問件数

(2) そめやの里

ア 重点的取組

	重点課題	取組方針	成果指標
サービスの質	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者個別ケアの推進</li> <li>質の高いサービスの提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アセスメント重視のサービス提供</li> <li>情報の共有</li> <li>個別機能訓練の実施</li> <li>個別ケアの重視。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ケア会議（月1回）における個別ケア重点検討。</li> <li>24時間シートの検討と変更。</li> <li>ケア記録の充実。</li> <li>個別機能訓練による重度化防止。</li> <li>認知症介護基礎研修の受講を促進。</li> <li>認知症介護実践者研修に2名受講。</li> <li>認知症介護リーダー研修に1名受講。</li> <li>ご利用者ご家族、介護支援専門員との情報共有等連携強化。</li> </ul>
地域福祉の増進	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民との交流促進及び地域貢献</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域行事への参加と地域への貢献</li> <li>在宅介護への寄与</li> <li>施設の防災時協力</li> <li>伝統芸能維持への寄与</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の防災訓練と環境活動へ参加。（地域日程）</li> <li>いきいきサロンへの協力。（月1回）</li> <li>家庭介護研修会の開催。（年1回）</li> <li>福祉なんでも相談窓口の継続。（月～金） （なんでも福祉相談員・管理栄養士・介護福祉士）</li> <li>運営推進会議：情報交換・検討。（2ヵ月毎・適宜）</li> <li>地域伝統芸能維持への協力。（適宜）</li> </ul>
人材確保と育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員採用に向けた採用活動・広報の強化</li> <li>職員の勤労意欲と介護技術の向上</li> <li>国際貢献</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>群馬県いきいきGカンパニー宣言（認証）</li> <li>福祉養成校及び就職説明会への求人活動。</li> <li>働き手の確保</li> <li>資質向上のため研修及び資格取得を促進</li> <li>労働負荷の軽減</li> <li>外国人の受入れ検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>女性の働きやすさ推進。</li> <li>ホームページ、パンフレットの活用。</li> <li>養成校訪問及び情報交換と説明会参加。</li> <li>養成校介護実践コース生の受け入れ。</li> <li>キャリアとニーズに適した研修受講と資格取得。</li> <li>年次有給休暇取得促進。（働き方改革）</li> <li>時間外労働軽減への業務見直しの取り組み。</li> <li>技能実習制度の運用を含めた検討を開始。</li> </ul>
施設経営	<ul style="list-style-type: none"> <li>適正な収益確保と財政基盤の安定</li> <li>中長期計画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設経営に係る営業・PR活動</li> <li>利用者の実態及び介護効率等勘案した施設整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>デイサービスセンター及び短期入所利用者増への取り組み強化。</li> <li>近隣に6月にオープンする特養（160床）への対応策の検討。</li> <li>退所後5日以内の入所及び長期入院防止。</li> <li>新規利用者の開拓。（居宅、包括、医療連携室等）</li> <li>運営状況の把握と対策。（施設経営会議等）</li> <li>機械入浴設備更新の検討。</li> <li>設備の計画的維持管理、更新。（計画・予算）</li> <li>施設長期保全計画策定の検討。</li> </ul>

		・経営基盤再構築	・サービス提供に必要な人員の適正配置の検討。 ・居宅支援事業所の効率的運営の検討。 ・増床計画について状況を分析した上で、令和4年度以降に着手が適当かの検討。
--	--	----------	---------------------------------------------------------------------------------------

イ 数値目標

実施事業	定員	目標値	備考
特養（従来）	34床	99.0%	年間平均稼働率
地域密着型特養（ユニット個室）	20床	99.0%	〃
短期入所	6床	85.0%	〃
地域密着型通所介護	10人	7人	1日平均利用者数（※注1）
居宅介護	117件	105件	月平均（※注2）

(3) 明風園

ア 重点的取組

	重点課題	取組方針	成果指標
サービスの質	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者個別ケアの推進</li> <li>質の高いサービスの提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員の専門研修への積極的な参加を通じて、高い専門的な知識を習得する。</li> <li>接遇や苦情対応力の向上を図る。</li> <li>状態把握システム「MIMOTE」の活用</li> <li>感染症対策を図りながらの面会継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症介護基礎研修の受講を促進する。</li> <li>認知症介護実践者研修を2名が受講する。</li> <li>認知症介護実践リーダー研修1名が受講する。</li> <li>苦情対応研修の実施。（年1回）</li> <li>「MIMOTE」によるケアの一層の向上を図り、これまでの成果の取りまとめに取り組んでいく。</li> <li>整備されたWi-Fiを活用し、リモート面会への対応を充実させる。</li> </ul>
地域福祉の増進	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民との交流促進及び地域貢献</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>明風園サロンぼるかをはじめ地域貢献推進ビジョンに掲げる各種の取組を実施する。</li> <li>地域行事へ積極的に参加する。</li> <li>災害時等における地域との連携強化</li> <li>地域のニーズに対応した通所介護事業の運営</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>明風園サロンぼるかの実施。（11回/年）</li> <li>いきいきサロンへの協力。（適宜）</li> <li>地域が主催する各種行事に積極的に参加する（地域日程）</li> <li>地域住民が参加した防災訓練を行う。（年1回以上）</li> <li>地域密着型通所介護へ移行し、地域や利用者との連携を一層促進していく。</li> </ul>
人材確保と育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員採用に向けた採用活動・広報の強化</li> <li>職員の勤労意欲と介護技術の向上</li> <li>国際貢献</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>就職説明会や専門学校等での採用活動を実施する。</li> <li>各種の研修への参加促進</li> <li>外国人技能実習生受入れ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハートフルフェアや専門学校等へ出向き積極的な求人活動を行う。</li> <li>全職員が年間最低1回以上の研修受講を目指す。</li> <li>外国人実習生2名を受入れ、介護技術の移転による国際協力を推進する。</li> </ul>
施設経営	<ul style="list-style-type: none"> <li>適正な収益確保と財政基盤の安定</li> <li>中長期計画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関へ空床状況を周知するとともに、営業・宣伝活動を行う。</li> <li>長期保全計画に基づく計画的な施設整備を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>退所から入所手続きに至る期間として5日間を目指す。</li> <li>施設劣化調査の結果を受けて、緊急性の高い設備から更新や修繕を実施する。</li> </ul>

イ 数値目標

実施事業	定員	目標値	備考
特養（従来）	80床	97.0%	年間平均稼働率
短期入所	10床	66.0%	〃
通所介護	30人	15.0人	1日平均利用者数（※注1）地域密着型通所介護移行予定（定員18人）
居宅介護	117件	105件	月平均（※注2）

（4）菱風園

ア 重点的取組

	重点課題	取組方針	成果指標
サービスの質	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者個別ケアの推進</li> <li>質の高いサービスの提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修への積極的な参加</li> <li>より良い食事の提供</li> <li>個別ケアの推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症介護基礎研修の受講を促進し、日常的なケアに結びつける。</li> <li>真空調理法・凍結含浸食を継続する。</li> <li>感染症対策も意識しつつ小単位でのケアを発展させ大規模施設における個別ケアを検討する。</li> <li>介護記録のみならず情報共有に積極的にICTを取り込む。</li> </ul>
地域福祉の増進	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民との交流促進及び地域貢献</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域貢献事業の計画と実施</li> <li>地域包括支援センター他との協働</li> <li>住民の学びの場を提供</li> <li>災害時等地域との連携強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>火を使わない料理教室等を行う。</li> <li>住民向け給食試食会を実施する。</li> <li>講師派遣等に積極的に人材を投入する。</li> <li>親なきあと相談室との連携も視野に、法人の幅広いサービスメニューの有機的結合を目指す。</li> <li>地域住民参加型の研修会を開催する。</li> <li>年1回は住民が参加した避難訓練を実施する。</li> <li>災害時に必要性に応じて地域住民を受入れる。</li> </ul>
人材確保と育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員採用に向けた採用活動・広報の強化</li> <li>職員の勤労意欲と介護技術の向上</li> <li>国際貢献</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>就職説明会や専門学校等での採用活動を実施する。</li> <li>長時間労働を是正する。</li> <li>多角的な視点を持った職員育成と国際貢献</li> <li>キャリアパスとの連動</li> <li>外国人技能実習生受入れ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>フェアや専門学校等へ出向き積極的な求人活動を行い、就労ニーズの把握に努める。</li> <li>毎週水曜日はノー残業とする。</li> <li>職員評価基準を浸透させる。</li> <li>伝える機会を増やし職員の伝達能力の向上を図る。</li> <li>希望する研修の受講を推進する。</li> <li>職員育成とキャリアパスの整合性をすり合わせ、実践の方策を練る。</li> <li>外国人実習生6名を受入れ、介護技術の移転による国際協力を推進する。</li> </ul>
施設経営	<ul style="list-style-type: none"> <li>適正な収益確保と財政基盤の安定</li> <li>中長期計画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>経営意識の醸成</li> <li>稼働状況の向上</li> <li>施設の情報発信する</li> <li>業務の効率化を図る</li> <li>躯体の長寿命化に取り組む</li> <li>確実な積み立て</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>4半期に1度、仮決算を作成・共有する。</li> <li>退所後5日までの入園対応を目指す。</li> <li>関係機関への営業と宣伝活動を実施する。</li> <li>大規模施設における「新しい生活様式」の確立に向けチームで検討しケア方法を検討する。</li> <li>時代に即した施設改修により、利用者の利便性の向上と長寿命化双方を図る。</li> <li>中長期計画に沿った積み立てを継続する。</li> </ul>

イ 数値目標

実施事業	定員	目標値	備考
特養（従来）	120 床	97.5%	年間平均稼働率（1 日平均 117 名を目標）
短期入所	8 床	87.5%	” （1 日平均 7 名を目標）
地域密着型通所介護	15 人	14 人	1 日平均利用者数（※注 1）
訪問介護	—	400 回	月平均利用回数（※注 1）
居宅介護	185 件	157 件	月平均（※注 2）
相談支援（障害福祉）	—	75 件 199 件	年間計画数 年間モニタリング数
地域包括支援	—	200 件	月平均相談件数

※注 1：「数値目標」における通所介護ならびに訪問介護の定員・目標値は、介護予防相当サービスの利用者を含む。また「そめやの里」は基準該当障害福祉サービスも含む。

※注 2：「数値目標」における居宅介護の定員・目標値は、ケアマネ 1 名が月 39 件（介護 1 件に対し予防は 0.5 件でカウント）を基本とした数値。